

遺伝学概論(2)

[履修要件]

高等学校での生物の履修は要件としません。
授業中に必要となる高校生物の該当分野を、図説等で指示するので、自学自習することを望みます。

[成績評価の方法・観点]

期末試験の結果（80点）と講義中に課す小テストやレポートの結果（20点）に基づいて評価します

[教科書]

必要に応じてプリントを配布することがあります。

[参考書等]

（参考書）

D. L. ハートル 著 『エッセンシャル遺伝学・ゲノム科学』（化学同人）ISBN:9784759820485（"Essential Genetics and Genomics"の日本語版。海外の遺伝学の優れた教科書。）

中村千春 ほか 著 『遺伝学』（化学同人）ISBN:9784759811018（大学学部学生向けに書かれた遺伝学の教科書）

Bruce Alberts ほか 著 『Essential細胞生物学』（南江堂）ISBN:9784524226825（細胞生物学の良書。）

鈴木孝仁 監修 『改訂版 視覚でとらえる フォトサイエンス 生物図録』（数研出版）ISBN:4410281655（高等学校生物の図説は、とてもよくまとまった参考書です。生物未履修者はぜひ座右に。）

（関連URL）

<http://www.ikushu.kais.kyoto-u.ac.jp/>(担当教員（寺石）の所属研究室URLです)

<http://www.asystems.kais.kyoto-u.ac.jp/>(担当教員（井上）の所属研究室URLです)

[授業外学修（予習・復習）等]

専門教育で生物学関連分野に進もうとする学生は、高等学校で生物学を未習であっても、高校生物の学習内容を2回生までに修得しておくことが望ましい。

本講義は、高等学校での生物の履修を前提としませんが、生物未履修者は参考図書等を入手して自習することが必要です。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは特に設定しません。講義での疑問点があれば、講義終了時あるいは担当教員の研究室に来て、質問のこと。なお、フィードバック期間に質問をメール等で受け付け、それに回答します。

[主要授業科目（学部・学科名）]

理学部